

徳島県におけるてんかんの地域診療連携

研究分担者：森 健治 徳島大学保健学科教授・てんかんセンター

多田 恵曜 徳島大学病院 てんかんセンター・脳神経外科

研究要旨

徳島県におけるてんかんの地域診療連携の状況を調査研究するにあたり、てんかん診療拠点機関の徳島大学病院 てんかんセンターにおける診療状況を集計した。2019年1月～12月の1年間にてんかんセンターを受診した初診患者は合計 141人であり、徐々に増加傾向にある。

A.研究目的

本研究の目的は、徳島県におけるてんかんの地域診療連携の状況を調査することである。まずは、てんかん診療拠点機関の徳島大学病院 てんかんセンターにおいて診療状況を集計する。

B.研究方法

現時点の徳島大学病院 てんかんセンターを2019年1月1日～2019年12月31日までに受診した患者の集計を行った。

（倫理面への配慮）

本研究は診療情報の収集のみに拠っており患者への侵襲を伴わないため、生命倫理や安全面での問題は該当しない。研究では個人情報明らかになることはない。

C.研究結果

2019年1月から12月までの徳島大学病院 てんかんセンターへの新患者は141人（小児21人、成人120人）。ビデオ脳波モニタリングは70人（小児36人、成人34人）。手術件数は10件、

てんかん相談件数は254件と増加傾向にある。いずれも診療実績は増えている。初診患者141名のうち、男性は64名、女性は77名であった。年齢群別では0～9歳 12人（8.5%）、10～19歳 35人（24.8%）、20～29歳 31人（22%）、30～39歳 21人（14.9%）、40～49歳 18人（12.8%）、50～59歳 15人（10.6%）、60～69歳 2人（1.4%）、70歳～ 7人（5.0%）であった。初発年齢群別では0～9歳 32人（22.7%）、10～19歳 43人（30.5%）、20～29歳 25人（17.7%）、30～39歳 8人（5.7%）、40～49歳 6人（4.3%）、50～59歳 5人（3.5%）、60～69歳 1人（0.7%）、70歳～ 2人（1.4%）、不明 19人（13.5%）であった。

院内での紹介が30人、徳島県内からの紹介が84人、県外からの紹介が27人であった。

受診理由はてんかん診断目的が 59人（41.8%）と最も多く、薬物調整が 11人（7.8%）、薬剤抵抗性が 2名（1.4%）、手術目的が 8人（5.7%）、精神症状が 11人（7.8%）、その他が 50名（35.5%）であった。

D. 考察

効果指標を設定し、てんかんセンター初診の患者に関するデータを集計できる体制が構築された。

高齢発症のてんかんが受診する割合は少なかった。この理由としては高齢者てんかんがてんかんセンターに紹介されておらず、二次診療施設で診断治療されている可能性あるいは、てんかん自身が疑われておらず、見逃されている可能性も予想された。さらに啓発活動や教育活動を継続する必要があると思われた。診断目的が受診目的の最も多い理由であった。正確な診断が要求されている症例が多いことが推察された。

また、薬剤抵抗性、手術目的、精神症状に対する受診もあり、多職種がてんかんセンターに関与していることが徳島県下のてんかん診療に貢献していることが示唆された。

E. 結論

徳島大学病院がてんかん診療拠点病院に指定されたことで、徳島県下の多職種の連携が徐々に構築されてきており、てんかん患者のニーズに応えられるようになることが期待される。今後も更なる集計分析を重ね問題点を解消させる必要がある。

F. 健康危険情報

該当なし。

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Mori T, Takahashi Y, Araya N, Oboshi T, Watanabe H, Tsukamoto K, Yamaguchi T, Yoshitomi S, Nasu H, Ikeda H, Otani H, Imai K, Shigematsu H, Inoue Y. Antibodies against peptides of NMDA-type GluR in cerebrospinal fluid of patients with epileptic spasms. *Eur J Paediatr Neurol* 20(6):865-873, 2016 (査

読有)

- 2) Mori T, Imai K, Oboshi T, Fujiwara Y, Takeshita S, Saitsu H, Matsumoto N, Takahashi Y, Inoue Y. Usefulness of ketogenic diet in a girl with migrating partial seizures in infancy. *Brain Dev* 38(6):601-604, 2016 (査読有)

2. 学会発表

- 1) 多田恵曜, 東田好広, 中瀧理仁, 藤原敏孝, 森達夫, 郷司彩, 泉千恵, 中西寿, 飯田幸治, 森健治, 高木康志. 徳島県におけるてんかん地域診療連携体制整備事業について. 第6回全国てんかんセンター協議会総会 長崎大会 2019. 2019.2.23-2.24, 長崎 長崎大学医学部記念講堂・良順会館・ポンペ会館
- 2) 泉千恵, 中西寿, 多田恵曜, 東田好広, 中瀧理仁, 森健治. てんかん診療拠点機関指定前後における患者支援センターの役割. 第6回全国てんかんセンター協議会総会 長崎大会 2019. 2019.2.23-2.24, 長崎 長崎大学医学部記念講堂・良順会館・ポンペ会館
- 3) 平野愛子, 多田恵曜, 細川美香, 八田真依, 藤原敏孝, 岩野朝香, 森健治, 高木康志. 長時間ビデオ脳波モニタリングにおける病棟看護師の質向上のための取り組み. 第6回全国てんかんセンター協議会総会 長崎大会 2019. 2019.2.23-2.24, 長崎 長崎大学医学部記念講堂・良順会館・ポンペ会館

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

該当なし。

2. 実用新案登録

該当なし。